

杉並区長 田中 良 殿

杉並区教育長 井出 隆安 殿

抗 議 文

2017年12月13日
高円寺北1丁目被害者の会
代表 金森 克之
すすめていいの？有志の会
代表 岩村 瞳子

11月8日、杉並区が高円寺中、杉四小、杉八小保護者・関係者に対し、また区公式ホームページ上で、高円寺小中一貫校の開校1年延期を発表した際、その理由を「工事妨害」としたことにに対し抗議し、同表現の撤回と訂正を求めます。

1. 「工事妨害」が住民の抗議活動のことをあらわしているとすれば不当ないいがかりです。

文章上には明記されていないものの、先の区議会での審議において、区はたびたび、近隣住民の妨害があった旨説明しています。

私たち近隣住民にとっては、いわれのないいいがかりです。

2. 延期のおもな理由は建築確認の遅れです。

区民に対し情報公開された資料によれば、区と設計業者、工事業者は6月から工期の延伸を検討しており、また、本来1月末に行われるはずであった既製杭の発注や環七通り歩道切り下げの申請が、5月上旬に延期されていたことが明らかとなりました。

工事の遅延の原因はこれらが主因です。そして、区議会で「建築確認が3か月遅れた」との答弁があったことを考え合わせると、建築確認が3か月遅れたことにより、工事が3か月遅れ、その結果当初予定の平成31年2月末竣工が不可能となったものです。

3. 「工事妨害」との説明は、断じて容認できません。

2. の経緯を見れば工事遅延の責任は区と設計業者、工事業者にあることは明白であり、「工事妨害」との説明は住民運動が起きたことを奇貨として責任転嫁するものです。断じて容認することはできません。

区は「工事妨害」の表現を即刻撤回し、保護者と区民に対し、正確な責任の所在を明らかにするべきです。

以上、抗議の上、要求いたします。